



第42回日本救急医学会総会・学術集会

ランチョンセミナー27

# 救急医療におけるBNP測定の 意義とその目安値について

座長 **清水 光行** 先生

天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック 院長  
東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科 客員診療医長

演者 **小武海 公明** 先生

東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科 診療部長

# BNP

日時 2014年 **10**月**30**日(木) 12:10~13:10

会場 **第11会場(福岡国際会議場 5F 501)**

本会ランチョンセミナーは整理券制となります。  
開催日当日、福岡国際会議場 1F エントランスにて整理券をお渡しします。配布時間：8:00～セミナー開始時間30分前まで  
※なくなり次第終了 ※整理券は、セミナー開始10分後に無効となります。

## 【共催】

第42回日本救急医学会総会・学術集会／塩野義製薬株式会社／東ソー株式会社／株式会社 LSI メディエンス／アボット ジャパン株式会社／シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社／積水メディカル株式会社／富士レビオ株式会社

# 救急医療におけるBNP測定の意義と その目安値について

東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科 診療部長 小武海 公明 先生

1988年に日本で発見されたBNP（B型ナトリウム利尿ペプチド）は、心不全検査の決め手としてその臨床的意義が多く論じられている。しかし、そのなかで救急領域での測定意義の検討は十分とは言えなかった。救急施設を有する我々は救急医療におけるBNP検査の有用性に着目し、その研究と臨床応用を行って来た。

主たるBNP測定意義は二つある。第一に、呼吸器症状を有する救急患者の病因が心臓由来か否かを判断する情報となる。第二に、あらゆる緊急処置を要する患者の心機能を事前に知る。実際に救急疾患では脳と心臓疾患が関与する患者がおよそ三分の一を占め、その鑑別の恩恵は大きい。さらに救急に至る主な原因は異なるものの心臓疾患を合併している患者も多く、その評価が迅速に出来ることも極めて重要である。

本セミナーでは、BNPの基礎の復習とともに、これまで我々が取り組んできた研究成果の集大成を紹介する。多くの皆様のご意見をいただきたい。

BNP